

平成25年1月15日
総務局

東京都防災会議地震部会(南海トラフの巨大地震に係る検討 第4回)
議事概要について

1 地震部会の概要

日時：平成24年12月25日(月) 10:00~12:00
場所：東京都庁第一本庁舎南塔33階 特別会議室S2
出席者：平田部会長、中林部会長代理、久田委員、翠川委員、安田委員
宮寄危機管理監、箕輪企画調整担当部長、臼井計画調整担当課長ほか

2 議事概要

南海トラフの巨大地震による被害想定に関し、各委員から下記のとおり意見が出された。

<震度分布と津波浸水等について>

- 震度増分では、都がこれまで使用してきた50mメッシュのデータにより、内閣府の250mメッシュの増分を細かく評価する方針は結構だと思う。
- 長周期地震動対策は本当に必要なんだということを理解してもらうことが大事だと思う。
- 東京都の津波浸水想定では、海岸地形や構造物の詳細なデータを反映した方が、地形の影響などを細かく考慮することになるのでよいと思う。
- 内閣府の津波被害想定でも、避難などの対策をとった場合の被害軽減効果を計算するなど、住民があきらめずに対策できるような情報の出し方になっているので、参考にして欲しい。
- 浸水図を地図そのものに重ねて、このあたりまで浸水するという図を出すと住民に分かりやすい。居住地域が浸水する様子など、災害の実相を理解できると思う。

<想定手法等について>

- 火災延焼については、島しょ部で基本的に出火が見込まれないことを踏まえ、被害想定では津波火災の可能性を定性的に評価していく。

○南海トラフの巨大地震のゆれの影響を大きく受ける西日本と違って、揺れによる建物の被害は超高層ビルを除けばほとんどないだろうから、揺れを感じた後に、すぐ逃げることができれば、かなりの人が助かるのではないかと思う。